

近畿圏の目指す姿(意見集約)

No	機関名	姿No	原案	修正案	理由	回答
1	兵庫県	全般		※「本物」「首都圏と異なる」「首都圏に次ぐ」「他地域にない」「存在感のある」といった、関西の独自性、独創性の高さ、関西ならではの、特質を強調することと整合していないのではないか。関西の独自性の誇りと自信を持つのであれば、そういった表現は不要ではないか。		今回の「目指す姿」は、全体像を記述しています。「目指す姿」の体系化や骨太な姿の絞り込みについては、今後議論していくこととしたい。
2	兵庫県	1	歴史・文化に誇りとこだわりを持って本物を産み出す圏域	日本の歴史・文化のふるさと(あるいはみやこ)	学識者会議でも「本物」表現は何が本物か、本物、偽物とはという問題になるので不適切という意見が出されていたのではないか。	第2回検討会議でも複数の委員から「本物」についての意見があるため、原案どおりとしたい。
3	兵庫県	1	…眺めなどの本物の日本固有の文化を大切に保全し、次代に継承する。	…眺めなど、日本人の心のふるさととなる文化を次代に継承するとともに、内外に発信する。	「本物」表現をとらないことと、関西の持つ優れた「文化力」を内外に発信することの記述を追加。	「本物」については上記2のとおり。「内外に発信」については、三つ目の○についても言えることであり、それらを総称して一つ目の○で「象徴圏域」としてその趣旨も含めています。
4	奈良県	1	タイトル 歴史・文化に誇りとこだわりを持って本物を産み出す圏域	タイトル 歴史・文化に誇りとこだわりを持って本物を育む圏域 ※副題が可能なら(日本の歴史文化首都圏)	「本物を産み出す」という表現は、「今まで本物がなかったため、本物を作り出す」という誤解を与えてしまう。古代からの歴史の中で息づいてきた本物が今なお現存している姿が保存され、次代に継承されることと、個性あふれる新たな文化等の原石を磨き、創造することの両方が読みとれる言葉として「育む」圏域としてはどうか。	貴見のとおり「育む」とすると保存と創造の両方が読みとれますが、ここでは創造の方に重点をおきたいと考えているので、原案どおり「産み出す」という表現としたい。 なお、副題は、現時点では予定していません。
5	京都市	1	古くから都が置かれ、自然や地勢とあいまって、長い年月をかけて多様な文化を創造・継承・蓄積してきた日本文化(日本のアイデンティティ)の象徴圏域となる。	○古くから都が置かれ、自然や地勢とあいまって、長い年月をかけて多様な文化を創造・継承・蓄積してきた日本文化(日本のアイデンティティ)の象徴圏域、すなわち「文化首都」となる。	日本文化の象徴圏域を「文化首都」と表現することによって、より対外的なインパクトが強められるため。	「文化首都」という言葉は一般的ではないため、現時点では原案どおりとしたい。今後、「文化首都」の定義を明確化できれば、貴見を反映させる方向で考えたい。
6	京都市	1	○関西に残る多くの歴史・文化資産や多様性と厚みを兼ね備えた細やかな伝統工芸、生活、食、風土、眺めなどの本物の日本固有の文化を大切に保全し、次代に継承する。	○京都、奈良、大阪などの「歴史都市」をはじめとした関西に残る多くの歴史・文化資産・景観や多様性と厚みを兼ね備えた細やかな伝統工芸、生活、食、風土(、眺め)などの本物の日本固有の文化を大切に保全し、次代に継承するとともに、新たに創生する。	・「歴史都市」という他圏域にはないキーワードを使用することでインパクトが与えられるため ・「景観」は文化と並ぶ関西の強みであるため。(重複するため「眺め」を削除) ・歴史・文化・景観を保全し、次代に継承するだけでなく、新たに「創生」することが圏域全体の魅力を高め、世界の中で日本の地位向上につながるため。	「歴史都市」という言葉は一般的ではないため、現時点では原案どおりとしたい。今後、「歴史都市」の定義を明確化できれば、貴見を反映させる方向で考えたい。 「景観」と「眺め」は同様の趣旨であるため、原案どおりとしたい。 「新たに創生」については、三つ目の○の趣旨そのものであるため、原案どおりとしたい。
7	三重県	2		※次の内容を追加 ○中部圏など近畿圏と隣接する圏域との広域的な連携を図りながら、首都圏と並ぶ独自の圏域を形成する。	近畿圏が有する歴史・文化、学術・研究、新産業創出などの強みを生かしていくためには、隣接圏域との広域的な連携や交流を図っていくことが重要なため。 また、近畿圏の有する都市や産業などの影響力は、他圏域に広く及んでおり、さらに圏域全体の力を高めていくうえで、他圏域との交流・連携は不可欠と考えられるため。	貴見のとおり、隣接圏域との広域的な連携・交流は重要であるが、今後「戦略」を検討する過程で議論していくこととしたい。
8	大阪府	2	○非常時には首都機能をバックアップを担う。	○非常時には首都機能のバックアップを担う。 ※空欄の戦略に次の表現を入れていただきたい。 「「1.」～「7.」までの戦略により、関西都市圏の魅力・ポテンシャルをさらに高め、わが国国土における拠点的功能を集積していく」	現状の機能集積でも十分にバックアップ可能であるが、本計画による拠点的功能集積により、さらに圏域の潜在能力が高まるため	貴見のとおり、「資料5-1「近畿圏の目指す姿」「戦略」とりまとめ表」の中に記述しました。

No	機関名	姿No	原案	修正案	理由	回答
9	兵庫県	2	首都圏とは異なる多様な価値が集積する日本のもう一つの中心核	多様な価値が息づく日本の中心核	「首都圏と異なる」とあえて書く必要はないのではないか。逆に首都圏との二眼構造を意識しているように見えるのではないかな。	首都圏との二眼構造を意識しているが、第2の首都圏を目指すのではなく、独自の中心核を目指すことから、このような表現にしています。
10	兵庫県	2	○個性の異なる都市・地域が競争・協調しつつ、多彩な文化、暮らし、産業が息つき、生活の豊かさを…	○個性の異なる都市・地域が内外と多彩な交流を展開し、様々な文化・価値を受け入れ、昇華させて、多彩な文化、暮らし、産業が息つき、生活の豊かさを…	関西はこれまでの長い歴史において、アジアをはじめとする多彩な交流の中で、様々な文化を受け入れ、昇華させて、日本人の心のふるさと、関西独自の個性豊かな文化を創り上げてきた。それが、首都圏と異なる価値を体現する日本の中心ということではないか。アジアとの交流をリードできるのはそういう歴史と地域の力があるからではないか。	趣旨は貴見のとおりですが、ここでは「目指す姿」として記述しています。「内外との交流、文化・価値の受け入れ、昇華」については、「戦略」を検討する過程で今後議論していきたい。
11	兵庫県	2	関西は…首都圏に次ぐ集積を維持する	(削除)	首都圏と異なる価値を体現し、生活の豊かさを実現しようという目標を立てていることから、首都圏に次ぐ集積の維持を説明に上げることは適当とはいえないのではないか。	「中心核」と言う言葉は不明確なため、その例示として、人口・経済力・情報等を挙げています。「首都圏と異なる」とは、そのような集積の性格・形態等が異なるという意味であるので、全体として矛盾していないものと考えています。
12	奈良県	2	2. 首都圏とは異なる多様な価値が集積する日本のもう一つの中心核	近畿圏の目指す姿を統合したものと取り扱う	この項目は、他の「目指す姿」とはレベル的には並列ではなく、もっと大きな姿を言っている。「目指す姿」を統合したものとして取り扱うほうがよいのではないかな。	「目指す姿」の体系化については、今後議論していくこととしたい。
13	奈良県	2	二つめの○個性の異なる都市・地域が競争・協調しつつ、多彩な文化、暮らし、産業が息つき、生活の豊かさを実現する、……	二つめの○個性の異なる都市・地域が競争・協調しつつ、歴史的資産、多彩な文化、暮らし、産業が息つき、生活の豊かさを実現する、……	「1.」の内容を概略的に記述する観点から、古くから残る歴史・文化資産の記述が欠けているため、追加する必要があるのではないかな。「多彩な文化」に一括りした表現では読み取れない。	ここでは、「1.」で記述している過去から引継ぐ歴史・文化資産等に限定せず、文化・暮らし・産業の多彩性を意図しているため、原案どおりとしたい。
14	大阪府	3	3. アジアをリードする世界に冠たる交流・産業拠点	※順番を1に	歴史、文化も近畿を表現する重要な目指すべき姿ではあるが、国土形成計画から考えると、交流・産業拠点の方が相応しく、かつインパクトが強いと考えられるため	「目指す姿」の体系化については、今後議論していくこととしたい。
15	大阪府	3	3. アジアをリードする世界に冠たる交流・産業拠点	(追加) ○アジア地域との結びつきが強い関西は、海上輸送の拠点である大阪湾諸港や、航空輸送の拠点である関西国際空港など、大阪湾等をゲートウェイとした、円滑かつ効率的な物流ネットワークを形成する圏域となる。	「物流拠点」は、戦略といった手段手法のレベルではなく、地域としての扱うべき「目指す姿」である。	「物流」については「戦略」として整理した方が適当という意見が多いことから、原案どおりとしたい。なお、「戦略」として強く打ち出すべく、今後議論していきたい。
16	堺市	3	京阪神都市圏が、	大阪都市圏が、	「京阪神」は京都市・大阪市・神戸市の3都市のみ総称になるので、圏域全体を指す表現に変更することが望ましい。	京阪神都市圏は、3つの市域のみではなく、市街地が連なった周辺地域を含めたエリアを指しているものとして記述しています。
17	関経連	3	これからの関西のエンジン産業として、次世代産業やクリエイティブ産業を位置づけ、これにより多様で層の厚いものづくり基盤産業や成長が期待される新産業を牽引する。	これからの関西のエンジン産業として、次世代産業やハイテク産業、クリエイティブ産業を位置付け、……	シャープの液晶新工場や松下のプラズマ工場などハイテク系の製造拠点がベイエリアに進出しており、関西経済への波及効果が期待される。今後も関西が一体となり、こうした「強い」製造拠点の集積を積極的に進める必要がある。	「ハイテク産業」については、「次世代産業」の中に含まれるものと考えています。
18	三重県	4		※次の内容を追加 ○近畿の有する豊かな多自然地域を、圏域を支える重要な国土資源として適切に管理する。	地球温暖化防止や国土保全の観点からも、圏域の多くを占める森林の役割は大きい。また、近畿圏全体の発展のためには、①京阪神都市圏の成長に関する議論とあわせ、②都市圏の機能を支える周辺地域の発展に関する議論を行うことが必要であり、その項目の一つとして提案する。	多自然地域の重要性については貴見のとおり。「森林の管理」に関しては、一つ目の○の「自然環境の保全・再生」に含まれていると考えているので、原案どおりとしたい。

※「近畿圏の目指す姿」の表現ぶりについては、今後「戦略」の検討状況を踏まえ整理していくこととしたい。

No	機関名	姿No	原案	修正案	理由	回答
19	滋賀県	4	二つめの○として修正案を追加。	○豊かな水と緑が人々の暮らしと密接な関わりを保ち発展してきた琵琶湖・淀川流域圏において、流域圏の生態系・景観の保全・再生、健全な水循環系再生、水辺の賑わいの復活、水上交通ネットワークの構築に取り組み、「歴史・文化を活かし自然と共生する流域圏・都市圏」のモデル圏域となる。	・全国計画においても、これまでの全総の流れを受け、流域圏に着目した国土管理が掲載されている。 ・国家的プロジェクトである都市再生プロジェクトとして「琵琶湖・淀川流域圏の再生」が進められており、流域圏に着目した国土管理のモデルとして期待されている。 ・こうした圏域は他になく、目指す姿に書き込むことにより、他の圏域との差別化が図られ、特色ある計画になる。	貴見のとおり、流域圏を中心とした様々な取組みは重要であるため、今後「戦略」を検討する過程で議論していくこととしたい。
20	大阪府	4	4. 人と自然が共生する持続可能な世界的環境先進圏域 ※この表題からは近畿なのか、全国なのか良く分からない。	4. 高度な環境関連産業を有し、世界に貢献できる環境先進圏域	近畿の強みを考えた場合、「高度な環境関連産業」集積、「公害問題を克服してきたノウハウを有すること」を前面に出すことの方が近畿らしいと考えられるため	「4.」については、産業面からの視点だけではなく、人と自然の共生といった価値観・ライフスタイル等も含めた自然環境に係る幅広い分野で考えているため、原案どおりとしたい。
21	兵庫県	4	価値観を継承し、圏域全体で…保全・再生に積極的取り組み、環境先進地域として存在感のある圏域となる。	価値観を継承し、環境先進圏域として…保全・再生に積極的に取り組む。	環境先進圏域として存在感を示すことが目標ではなく、先進圏域として積極的な取組を行い、その技術等を世界に発信し、世界の環境問題への取組に貢献することで存在感が示されるのではないかと。	貴見のとおりですが、「目指す姿」として、なるべく圏域像らしく記述するようにしています。
22	兵庫県	4	人間活動の結果発生する廃棄物等を広域的に流動させ、	(削除)	循環型社会においても、まず廃棄物を削減することが第一であり、広域的に流動させることが第一ではなく、3Rの循環型社会の中での取組に位置づければよいのではないかと。	貴見を踏まえ、以下のように修正します。 ○人間活動の結果発生する廃棄物等について、圏域全体で効率的に3R(リデュース・リユース・リサイクル)を進める循環型社会を構築する。
23	堺市	4	ライフスタイル等を提案し、	ライフスタイル・まちづくり等を提案し、	地球環境問題の解決に取り組むためにはライフスタイルだけでなく、まちづくりの提案も必要と考える。	貴見のとおり修正します。
24	農政局	5	○大都市部は、……。	○都市部は、……。	○これまでの議論を踏まえて、ここでなぜ「大都市部」なのか、「大都市」はどこをさすのか、「大都市」に対して「都市部」はどうするのか、あまりにも唐突すぎる。	貴見や25～28の意見を踏まえ、「大都市部」、「地方都市部」、「農山漁村」に分けて「目指す姿」を記述します。
25	農政局	5	○地方部は、……、暮らしやすさや都市の持続的发展等を確保する。	○地方部は、農山漁村の果たしている役割をはじめ、国土の保全、景観形成など多面的機能を十分に発揮させるための適切な整備と保全を図るとともに、……地域の活性化を図り、地方の補完機能を堅持し都市との共生を図る。	○地方部における都市化についての記載に限定されていることが問題。地方機能(農山漁村の果たす役割)の堅持が抜け落ちているのでは、自然の魅力を享受する圏域とはありえない。都市部の周辺に賦存する農産漁村の魅力を維持しつつ、その地域を活性化することが必要であり、その部分が抜け落ちていることからその部分を挿入。 ○都市部に対する地方の位置づけとしては、お互いを補完しつつ共生を進めることにより、バランスのとれた国土形成圏域を実現するものであるため、地方部が一方的に都市の持続的发展等を確保するものとして存在するものではない。	25～28の意見をもとに、下記の項目を追加します。 ○農山漁村は、都市との地域間交流の促進や地域密着型産業等により、持続可能な地域社会を構築し、その多面的機能を発揮する。
26	三重県	5		※次の内容を追加 ○農山漁村地域が多面的機能を十分に発揮でき、持続可能で自然環境に配慮した圏域を形成する。	圏域全体の多くの面積を占め、都市圏を支える農山漁村地域の役割について明記することで、圏域全体のバランスの取れた発展につながる。	上記25と同じ。
27	兵庫県	5		○多自然居住地域は、国土保全機能や自然エネルギー資源、多彩な地域文化等の継承等の多くの公益機能を有しており、この地域の暮らし、豊かな自然と地域の魅力を守り、高めていく。 (多自然居住地域の記述を追加)	「都市と自然の魅力を日常的に享受」という目標に対し、多自然居住地域についての記述がないため。	上記25と同じ。

No	機関名	姿No	原案	修正案	理由	回答
28	奈良県	5	三つ目の○ 地方部は、中心市街地への都市機能の集約と 周辺の地域を結ぶ公共交通ネットワークにより 集約型都市を構築し、……	三つ目の○ 地方都市部は、中心市街地への都市機能の集 約と周辺の地域を結ぶ公共交通ネットワークに より集約型都市を構築し、……	①大都市部以外の地域を「地方部」と一括りにしているが、 「地方都市」と「中山間地域」とは、大都市圏への近接性 や交通ネットワークの整備率などで異なる地域であり、それ ぞれの目指す姿を記述する必要がある。 ②三つ目の○に記述されているのは地方都市の目指す姿 であり、過疎地域が多数存在する中山間地域を近畿圏とし てどうするのが記述されていない。	「地方都市部」については、貴見のとおり修正します。 「中山間地域」については、上記25と同じ。
29	奈良県	5		五つ目の○の追加 ○農林水産業をはじめ、伝統産業や地場産業 が、新たな技術開発や高付加価値型の商品開 発などにより、地域活性化につながるとともに、 国際競争力のある産業としてリノベーションさ れている。	農産漁村の項目を集約した項目であるので、農産漁村おけ る産業についても記述する必要があるのではないかと。	貴見のとおり、農山漁村における産業は重要であるた め、今後「戦略」を検討する過程で議論していくことと したい。
30	大阪府	5-6	※この2つの表題からは近畿なのか、全国なの か良く分からない。	※5、6はわが国どこでも言えることなので、他 の1、～4、7、に分散させてはどうか。 特に6、は広域地方計画全般で留意すべき事項 であり、削除すべき。	6、は国土形成計画で論ずべき話なのか疑問。国土形成計 画に「福祉」のソフト施策を議論するのは違和感有り。⇒各 種国土施策を横串的観点(福祉の観点)から検討することは 必要だが、戦略5.7はじめ相応しい所で記載すればよいこ と。例えば、IT活用やユビキタス活用による高福祉の実現と いう視点であれば、1、～7、のどこか相応しいところで記載 すべき。	今回の「目指す姿」は、全体像を記述しています。「目 指す姿」の体系化や近畿圏の独自性等を踏まえた骨 太な姿の絞り込みについては、今後議論します。 また、構成機関からの提案において、「6、都市と自 然」、「7、都市と地域の再生」、「8、農山漁村」、「9、 福祉」を集約すべきとの意見が多かったことを踏ま え、「都市・地域」、「暮らし」の観点で再編しています。
31	兵庫県	6	人々が自律して暮らせる高福祉圏域	快適で豊かな暮らしが息づく生活圏域	この項目で、福祉だけでなく質の高い豊かな暮らしの実現を 示すためには、福祉圏域とすると限定的な印象が強いので はないか。	貴見では「近畿圏」がひとつの「生活圏域」というように 受け取られる可能性があることを考慮し、「人々が自 律して快適で豊かに暮らせる高福祉圏域」に修正しま す。なお、ここでいう「福祉」は広義の意味で使用して います。
32	兵庫県	6	○関西の全ての地域で、子育てに夢がもてる地 域社会を形成する。	○関西の全ての地域で、国、自治体、地域、企 業等の全ての主体が参加して、子育てに夢がも てる地域社会を形成する。	主体を明確に示す必要があるのではないかと。	具体の「主体」については、今後、「戦略」を検討する 過程で議論していくこととしたい。
33	兵庫県	6		○地域の個性を活かした農林水産業や地場産 業により、地域の元気を創出する。 (地域経済活性化を記述)	高度な産業による圏域の活力だけでなく、地域経済の活性 化による地域の豊かさと暮らしづくりの記述が必要ではない か。	貴見のとおり、地域経済の活性化は重要であるため、 今後「戦略」を検討する過程で議論していくこととしたい。
34	兵庫県	7	○防災・減災分野における研究・教育と実務を 兼ね備えた、国内及びアジア・太平洋地域に貢 献する国際防災拠点を形成する	○国際的な防災関係諸機関の集積を活かすと ともに、阪神・淡路大震災をはじめとする自然災 害の経験と教訓を継承・発信し、人材育成や復 旧復興支援等を通じて、地域の安全・安心と内 外の防災や復興を支援する国際防災拠点を形 成する。	研究・教育と実務を兼ね備えた国際防災拠点では、研究機 関の整備のイメージになるのではないかと。	趣旨は貴見のとおりであり、「研究・教育と実務を兼ね 備えた」という表現としています。